

ポスター発表（第1部）

11:40-12:20

1. 基礎研究

座長：岩渕 三哉（新潟大学大学院保健学研究科 病理病態検査学）

P1-1 膵神経内分泌腫瘍における SOX2 および Pdx1 の発現

秋山 貴洋（千葉大学大学院医学研究院 臓器制御外科学）他

P1-2 食道小細胞癌における SOX2 過剰発現と免疫組織学的特性

石田 裕嵩（東北大学大学院 先進外科学分野／東北大学大学院 病理診断学分野）他

P1-3 食道原発神経内分泌癌におけるマイクロ RNA 発現プロファイルを用いた分子生物学的サブクラス同定の試み

奥村 知之（富山大学医学薬学研究部 消化器腫瘍総合外科）他

P1-4 Progesterone-induced cell cycle gene expression profiling by PCR array in pancreatic neuroendocrine tumor cell line

Samaneh Yazdani（東北大学大学院医学系研究科 病理診断学分野）他

P1-5 GEP-NET における Ki67 labeling index 評価の均てん化に向けての試み

三浦 豪（東北大学医学部）他

2. 臨床病理学的研究 消化管

座長：平林 健一（東海大学医学部基盤診療学系 病理診断学）

P2-1 当院における食道神経内分泌癌に関する検討

鳥山 和浩（愛知県がんセンター中央病院 消化器内科部）他

P2-2 食道内分泌細胞癌切除症例の検討

村上 健太郎（千葉大学大学院医学研究院 先端応用外科）他

P2-3 胃神経内分泌腫瘍に対する治療方針

四條 正浩（東北大学 消化器外科学）他

P2-4 A型胃炎に合併した胃カルチノイドの治療指針に関する多施設共同研究

佐藤 祐一（新潟大学医歯学総合病院 光学医療診療部）他

P2-5 当院における十二指腸神経内分泌腫瘍7例の検討

羽成 直行（千葉大学大学院医学研究院 先端応用外科）他

P2-6 腫瘍径 10mm 以下の直腸 NET 手術症例の検討

阿部 友哉（東北大学 消化器外科学）他

3. 臨床病理学的研究 膵臓

座長：水野 伸匡（愛知県立がんセンター中央病院消化器内科）

P3-1 当院における膵神経内分泌腫瘍の予後の検討

吉田 司（愛知県がんセンター中央病院 消化器内科部）他

P3-2 当院における膵神経内分泌腫瘍切除症例の検討

瀧下 智恵（東京医科大学病院 消化器・小児外科）他

P3-3 pNET の外科治療方針 ～外科切除 40 症例の検討から至適術式を再考する～

杭瀬 崇（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器外科学）他

P3-4 膵・消化管神経内分泌腫瘍肝転移症例の治療成績の検討

大塚 英郎（東北大学 消化器外科学／東北6大学外科臨床研究グループ）他

P3-5 膵神経内分泌腫瘍と IPMN 併存症例の検討

山内 雄揮（京都大学 NET ユニット 消化器内科）他

P3-6 膵神経内分泌腫瘍における Snail、E-cadherin 発現意義の検討

米盛 圭一（鹿児島大学 消化器・乳腺甲状腺外科学）他

4. 検査、画像

座長：池田 公史（国立がん研究センター東病院 肝胆膵内科）

P4-1 当院のインスリノーマ 15 症例における選択的動脈内刺激薬注入法の検討

植田 圭二郎（九州大学大学院医学研究院病態制御内科学）他

P4-2 SACI テストにて腫瘍局在を診断し腹腔鏡下に切除しえた膵インスリノーマの 1 例

仲野 健三（京都大学大学院 肝胆膵・移植外科学）他

P4-3 診断と治療に苦慮した膵神経内分泌腫瘍の 2 症例

保田 宏明（京都府立医科大学 消化器内科学）他

P4-4 神経内分泌腫瘍肝転移の切除術において Perflubutane 使用術中造影超音波は必須である

有田 淳一（東京大学 肝胆膵・人工臓器移植外科）他

5. 外科的治療 1

座長：工藤 篤（東京医科歯科大学 肝胆膵・総合外科学）

P5-1 NET G1 でリンパ節転移を来した膵内分泌腫瘍の 1 例

東 美智代（鹿児島大学大学院 病理学分野）他

P5-2 当科における膵神経内分泌腫瘍 (NET G1/G2) 切除例の検討

上村 淳（香川大学医学部 消化器外科）他

P5-3 膵神経内分泌腫瘍に対する腹腔鏡下膵切除術の手術成績

松下 晃（日本医科大学 消化器外科）他

P5-4 膵神経内分泌腫瘍における、鏡視下手術の検討

水野 裕貴（東京医科歯科大学 肝胆膵外科）他

6. 病理診断

座長：東 美智代（鹿児島大学大学院 病理学分野）

- P6-1 膵に発生した oncocytic variant neuroendocrine tumor の1例
佐藤 純（東北大学 消化器外科学）他
- P6-2 膵 mixed acinar-neuroendocrine carcinoma の1例
盛 直生（山形県立中央病院 外科）他
- P6-3 極めて稀な Vater 乳頭部混合型腺神経内分泌癌 (MANEC) の一切除例
浦上 秀次郎（国立病院機構東京医療センター 外科）他
- P6-4 胆嚢原発 mixed adenoneuroendocrine cell carcinoma (MANEC) の一切除例
白木 孝之（獨協医科大学 第二外科学講座）他
- P6-5 Tailgut cyst に発生したと考えられた骨盤内神経内分泌腫瘍の1例
釋 亮也（伊達赤十字病院 消化器科）他

7. 消化管 NET

座長：清水 京子（東京女子医科大学 消化器内科）

- P7-1 胃に発生した mixed adenoneuroendocrine carcinoma (MANEC) の1例
高山 歳三（東北薬科大学病院 消化器内科）他
- P7-2 リンパ節転移を認めた径 7mm の回腸神経内分泌腫瘍の1例
中嶋 夏磯（東北薬科大学病院 消化器外科）他
- P7-3 直腸癌と直腸原発神経内分泌腫瘍を合併した若年発症の1例
村川 康子（宮城県立がんセンター 腫瘍内科）他
- P7-4 術後 24 年目に肝転移を認めた直腸カルチノイドの1例
近藤 宏佳（埼玉医科大学国際医療センター 消化器外科）他
- P7-5 妊娠に合併した直腸 neuroendocrine carcinoma に対して根治手術施行した1例
井上 善景（京都大学医学部医学科大学院 消化管外科）他

8. 薬物治療

座長：森実 千種（国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科）

- P8-1 当院における膵神経内分泌腫瘍に対するエベロリムス、スニチニブの使用経験
千代延 記道（東京医科歯科大学医歯学研究科 肝胆膵外科）他
- P8-2 エベロリムスにて縮小し切除可能となった局所進行膵神経内分泌腫瘍の1例
佐藤 朝日（京都大学医学研究科 肝胆膵・移植外科／京都大学医学研究科 NET ユニット）他

P8-3 神経内分泌腫瘍に対してエベロリムスを投与した6例の安全性に関する後方視的検討

沖田 啓（東北大学加齢医学研究所 臨床腫瘍学分野）他

P8-4 当院におけるストレプトゾシンの初期使用経験

渋谷 仁（愛知県がんセンター中央病院 消化器内科部）他

P8-5 当科における切除不能膵神経内分泌腫瘍に対する Streptozocin の使用経験

大石 敬之（国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科）他

P8-6 膵内分泌腫瘍化学療法中に慢性骨髄性白血病を発症した1例

伊藤 達雄（京都大学 外科（肝胆膵・移植外科））他

9. 外科的治療 2

座長：青木 琢（獨協医科大学 第二外科）

P9-1 膵温存十二指腸全切除術が MEN1 型の異時性神経内分泌腫瘍に有効であった1例

西山 和宏（関西電力病院 外科）他

P9-2 膵体尾部切除後の膵体部 NET の残膵再発に対し残膵全摘術を施行した1例

平谷 清吾（横浜市立大学医学部 消化器・腫瘍外科学）他

P9-3 同時性多発肝転移を伴った膵神経内分泌腫瘍に対して同時切除を施行した1例

恒成 崇純（防衛医科大学校 外科）他

P9-4 小腸神経内分泌腫瘍を切除し得た2症例

西山 和宏（関西電力病院 外科）他

P9-5 異時性多発肝転移に対して化学療法後に肝切除を施行し、術後3年無再発生存中の胃 NEC G3 の1例

手塚 康二（山形大学医学部 第一外科）他

10. 集学的治療

座長：大塚 隆生（九州大学 肝胆膵外科）

P10-1 四次治療として S-1 単剤療法が奏功した胆嚢原発が疑われる NEC の1例

本田 琢也（長崎大学病院 消化器内科／長崎大学病院 がん診療センター）他

P10-2 多発肝転移を伴う PNET に対し長期間の内科治療が奏効し conversion surgery を施行し得た1例

松本 尊嗣（獨協医科大学 第二外科）他

P10-3 NF-1 の体細胞変異を有する膵神経内分泌癌 (NEC) においてプラチナレジメン無効中止後にエベロリムスが短期間奏効した1例

山口 敏史（国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科）他

P10-4 PTHrp 産生神経内分泌腫瘍に対し CDDP 動注が奏功した VHL 病の 1 例

酒井 健輔（聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院 代謝・内分泌内科）他

P10-5 切除不能消化管・膵神経内分泌腫瘍 (GEP-NET) に対する PRRT の役割と当院の取り組み

小林 規俊（横浜市立大学附属病院 臨床腫瘍科）他